

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護過程 I Process Planning for Care Work I		1年	後期 1 / 2	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の学生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
和田 晴美	福祉棟 2 F	月・火・水・木の9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
介護過程は、学んだ知識・技術を統合し、利用者個々のニーズを的確に把握して、求められる支援を導き実践する思考過程である。介護過程 I では、その思考過程が可能となるような、基本的な能力を養うことを目的とする。介護過程の意義や目的をふまえ、利用者の情報収集から計画立案、実施、評価、修正に至る一連の流れを理解できるように取り組む。				
授業の目標				
①介護過程を行う目的と、介護過程の構成要素を列挙できるようにする。 ②個々のニーズを把握するため、利用者に対する情報収集の内容と方法を説明できるようにする。 ③アセスメントから評価・修正に至る一連の介護過程の流れを理解し、紙上事例を用いて記述できるようにする。				
授業の方法				
介護過程の目的、構成要素について理解し、事例をもとに情報収集から実施・評価までの一連の介護過程を展開することで、「介護過程に沿った考え方」を学ぶ。学生間で互いに情報収集を行うことで、実施時の留意点を考えながら実践できるように取り組む。さらに、紙上事例を用いて計画立案までを行う中で、適宜課題の提出を課す。課題は添削し学生に指導後返却する。これを繰り返す中で、介護過程の展開が理解できるように進める。				
学習の成果(学習成果)				
①介護過程の各段階で行う具体的な内容を説明することができる。 ②留意点に注意しながら、学生間での情報収集を実施することができる。 ③紙上事例を用いて、アセスメントから計画立案までを一人で展開することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・受講時の留意点など) 介護過程とは何か【講義】			
第2回目	介護過程の意義・目的・目標、介護過程の構成要素【講義】			
第3回目	アセスメント① 情報とは 観察とは 他者を観察すること【講義・演習】			
第4回目	アセスメント② 情報収集 枠組みを使った情報収集【講義・個人ワーク】			
第5回目	アセスメント③ 情報整理 アセスメント1・2の記入【個人ワーク】			
第6回目	アセスメント④ 情報整理 ICFの枠組みに沿った情報の整理【個人ワーク 課題提出①】			

第7回目	アセスメント⑤ 情報の分析・解釈・統合 全体図・関連図の構成【講義・個人ワーク】		
第8回目	アセスメント⑥ 情報の分析・解釈・統合 情報の関連付けと統合【講義・個人ワーク】		
第9回目	アセスメント⑦ 情報の分析・解釈・統合【個人ワーク 課題提出②】		
第10回目	アセスメント⑧ ニーズ・課題の抽出、優先順位の設定【グループワーク、発表とまとめ】		
第11回目	計画立案 目標の設定と方法の選択【講義・個人ワーク】		
第12回目	実施・評価とは【講義・個人ワーク 課題提出③】		
第13回目	事例による介護過程の展開① アセスメント1・2の記入【個人ワーク】		
第14回目	事例による介護過程の展開② ICFの枠組みで情報の整理【個人ワーク】		
第15回目	事例による介護過程の展開③ 分析・解釈・統合【個人ワーク 課題提出④】		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	20%	以下の視点で評価する。授業の準備が整い、講義・個人ワークでは集中しており、疑問点は質問して解決できること。ディスカッションでは他者の意見を傾聴し、自ら積極的に発言して学びを深められること。
	レポート	40%	「介護過程」の練習課題で評価をする。評価基準Sは情報の分類が適切であり、情報をもとに分析・解釈が十分に行われ、課題・ニーズの表現が適切である。学習した内容や文献を参考にしながら計画立案していること。
	調査報告書		
	小テスト		
	試験	40%	「紙上事例による介護過程」を試験とし、介護過程評価表に従って、①情報 ②分析・解釈 ③課題・ニーズ ④目標 ⑤計画の各要素の内容を評価する。評価基準Sは、評価表を提示して授業で説明する。
	発表内容(態度含む)		
	その他		
教科書と参考図書			
新・介護福祉士養成講座 第9巻 介護過程 中央法規出版			
履修上の留意点・ルール			
講義・演習とも積極的に参加すること。やむを得ず欠席した場合は、必ずその部分の学習を補い、届出等は速やかに提出すること。課題の提出を繰り返し行うので、期限を厳守して提出すること。教室での飲食、机上への飲み物の放置も禁ずる。補習時間を設けるので、積極的に参加し、介護過程展開方法について理解を深めるよう努力してほしい。この授業は後期・前半のクォーター科目である。週2回の授業となるので、注意すること。			